

一般社団法人 からし種の会後援会 感謝とお願い 理事長 小淵 康 而

コロナ禍が起こってもう3年もたちました。その間、からし種の家も、マナの家も、職員の皆さんのお働きと多くの人たちのお支えによって、無事に過ごしてこられました。感謝です。また、その間もからし種の会を資金面で支えいただきました。あと200万円、最初にお借りした資金の返済が残っていますが、今年度中に返済できる見込みです。どうぞ、これからも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

後援会個人献金等 一般社団法人からし種の会後援会 2022年7月11日～ 2023年1月31日分

Table with 4 columns: 氏名, 金額, 氏名, 金額. Lists donors and amounts for the 2022-2023 fiscal year.

○所得税控除の為に法人へご寄附をされる方は下記の口座へお振込みをお願いします。

- 法人の口座
・第四北越銀行 小針が丘支店
普通預金
口座番号：1311450
口座名義：社会福祉法人からし種の会
・ゆうちょ銀行
口座番号：00520-2-49444
口座名義：社会福祉法人からし種の会
※ご不明な点はお問合せ下さい。
TEL 025-201-7688

..... 献金・ご寄附のお願い

看取りの家、たまり場、みんなの食堂は自主事業で行っておりますので、運営は皆様からの献金・ご寄附に支えられています。ご支援をよろしくお願いいたします。

後援会の口座 郵便振替口座 払込取扱票で入金の場合
口座番号：00540-6-53627 加入者名：一般社団法人 からし種の会後援会

「つながりの新しい展開」
コロナ禍で三年たちました。しかし、病院や高齢者施設においては検査や面会制限が続いています。そのため感染防止対策を十分に取らなから、その上で何を大事にし、優先すべきところはどこかを判断しながら実践方法においても工夫が求められていく時代です。
当法人も例外ではありません。私たちは一つの「つながり」の取り組みを通して改めてその意義を教えられたように思います。簡単ですが、そのご報告をさせていただきます。
一つめは、毎年十一月三日の日に開催された恒例の西有明地域住民作品展と福祉バザーについてです。二〇二二年度は、これまで「みんなが楽しめる広場」づくりが有明第一自治会をはじめ、住民の皆様のご理解とご協力によって、新しい展開が生み出されたのではないのでしょうか。
きっかけは、自治会長の熱意から「文化の日を楽しみましょう。外でイートインエリアがあったらいいね。子どもが集まれる場がいいね」ということに始まり、有明第一自治会、民生委員、福祉の会、当法人関係者らのネットワーク会議の中で具体化していききました。画期的であったことは「バザーロード」とかってに名付けましたが、私道が一次的でも地域



- 2023年3月
□社会福祉法人 からし種の会
事務局 〒950-2071
新潟市西区西有明町2番5号
TEL: 025-201-7688
FAX: 025-201-7626
E-mail: karashi9845-tane@cyber.ocn.ne.jp
□高齢者グループホーム からし種の家
〒950-2014
新潟市西区小針西1丁目4番22号
TEL: 025-267-6600
FAX: 025-267-6602
□グループホーム マナの家
□地域福祉事業 マナの家・みんなの家
〒950-2071
新潟市西区西有明町2番5号
TEL: 025-201-7688
FAX: 025-201-7626

住民みんなに開かれた「パブリックな道路」、「楽しむ広場」として使えるようにされたことではないでしょうか。詳しくは三面の自治会長の文章をお読みください。
そのスペースは、キッズダンス「チャーム」のステージ場であり、観客席となり、子どもたちの遊びのエリアともなりました。自治会主催の芋煮、綿あめコーナーがありました。イートインエリアとして活かされました。もちろん当会も参加させていただきました。若き職員たちは、学生時代に戻ったかのようにゲームコーナーを生き生きと担当し、みんなの食堂担当のメンバーたちは、パン、フライドポテト、たこ焼き、ごはん類と食品を並べさせていただきました。フリーマーケットも子供たちに人気でした。初参加として着物の職員が「茶席」を担当くださり、長年の茶歴を生かし、力を発揮してくださいました。
いつもの地域住民作品展あり、マジックショーあり、コーヒー店あり、救護所ありの豊かな笑顔に包まれたすばらしい一日となりました。みんなが「楽しむ」という同一の目的のために人や団体がつながる。そこで新しい出会いや新しい関係が創出されたことをとても喜んでいきます。
コロナで人と人のつながりの希薄化が問題視される中で、つながりの効果的な展開がみられたことを忘れないでいたいと思います。
かけがえのない時間の共有
二つめは、「愛する人の看取り」という同じ目的のために最期まで寄り添い、支えあうつながりの関係についてです。私たちは、年の暮れに法人の自主事業（通称看取りの家）で暮らすIさんを、年明けにグループホームで生活されるSさんをご家族とと

もに看取ることとなりました。お二人とも、グループホームから看取りの家へ等、事情は異なりますが十年、八年という時をホームで暮らし、人も場所も慣れ親しんだ環境の中で穏やかに過ごされてきました。また、医療ニーズが高くなってからは、訪問看護サービスをご利用されていました。
この間に私たちは、ご本人の意向を尊重しご家族の思いをお聴きしながら、提出された「緊急時や終末期における医療・見取り介護等に関する意思確認書」の内容についてくりかえし確認してきました。
お二人とも「回復が見込めないと医師が診断した場合においては延命を行わず、また、危篤な状態に陥った場合でも病院の搬送は希望せず」、「マナの家の職員らと協働・家族参加の看取りを希望します」という意思をもっておられました。
同日にお二人が急変されたあの日も、救急搬送することなく、検査と防護服着用をお願いしたものの、ご家族が最期まで母親の手を握り、そばにいたことができるように支援させていただきました。
創設以来、私たちはご本人・家族の意向に寄り添う看取りを大切にしてきました。亡くなられた後もご家族と一緒にからだをきれいにし、ご家族がご本人のために最後に着せたい服や着物を選ばれる時間も含めエンゼル・ケアの時間を共有してきました。
特にお化粧をするときには、職員たちも綿棒で口紅を塗らせていただきながら「ありがとうございました」と感謝を伝えていきます。そして、ご本人のベッドを囲んでお別れ会が礼拝形式で行われます。八時半開始となれば、全職員というほど皆が集まってさざげられます。コロナ禍のため、ご利用者は入れ替わり、仲間へのお別れを告げ、手をあわせ、献花をささげてくださっています。
ふしぎといのちを尊びあうチームの関係において利用者が、家族、職員という関係を越えて一つの大きな家族となつて時間を共有していくことができそうです。その歩みの中で、ご家族の皆様から「ここでよかった」と言ってもらえるつながりの質が生まれていくのかもしれない。
私たちはこれからも、神と人とのつながりを大事にしながら、ひとりひとりに寄り添い、ていねいに時を重ねていきたいと思ひます。



公開講演会 「老いとほけの世界」 ～認知症を考える～
よりあい村瀬孝生さんと 私のシンクロ
マナの家 堀川 聖子
村瀬さんの語りには村瀬さんが出会ったお年寄りのゆっくりとした動きやほけを抱えて時間や場が「今」「ここ」にない人の世界につき合うことは時にもどかしく、どのように沿えばよいか途方にくれることもありすが、本当に深く豊かな世界であり、出会ったお年寄りとの日々が積み重なって私の人生に なっています。村瀬さんのお話を聴くと私も語りたくなるのです。私もかけがえのない出会いは深いエピソードは沢山あります！と。介護という仕事の面白さは出会ったお年寄りと私 は村瀬さんから教わりました。当日は私が出会ったお年寄りのエピソードを村瀬さんに聴いて頂きました。「ほんと、お年寄りの話は尽きないですよ」と、エピソードを通じて憧れの村瀬さんとシンクロできた瞬間が嬉しかったです。
2022年8月12日

編集後記
「からしだね」第36号ではコロナ禍でのバザーやクリスマス会の様子を中心にお送りしました。各ホーム、ユニットごとに役割を持つて準備をしたり、当日は皆が一緒に楽しめるよう工夫しながら行うことができました。地域の方、ボランティア、ご家族の皆様のご協力にもいつも感謝しております。ありがとうございます。
(マナの家 滝澤)

西有明地域住民作品展 & からし種の会♥福祉バザー

事前準備では、ご利用者の方々が作品展で展示する作品や当日使用する飾りつけの作成を一つ一つ丁寧にして下さいました。また、職員が手作りでゲームコーナーを作成し地域の方々やご利用者に楽しんで頂けるよう工夫を凝らしました。作品展では、感染症対策として地域の方とご利用者との時間を分けました。ご家族や職員と一緒に回りご自分で作られた作品等をご覧になり楽しんでおられました。

福祉バザーでは、ゲームコーナー・食品販売・寄付品販売・茶席を行いました。どれも好評で、地域の子どもたちからご利用者、ご家族にも楽しんでいただくことが出来ました。また、当日は朝早くから、多くのボランティアの方々協力していただき、大きなトラブルもなく無事に終えることが出来ました。



西有明地域住民 作品展 からし種の会 福祉バザー 2022.11.3	10:30 ~ OPEN A 西有明地域住民作品展 B フリーマーケット ゲーム(約的、4本くらい) 的当て...10円 食品販売 50円~100円 (おはき、席巻、こたて、110円、 たこやき、五目ごはん、カレー)	11:30 ~ C 芋煮 販売	13:00 ~ C 綿あめ 販売 D 茶席 300円 14:00まで ※茶席は10:30~ フリーマーケットコーナーにて 販売します。	13:30 ~ E ステージ イベント ☆キッズダンス 「チャーム」 ☆マジックショー 「めらり」	14:30 終了 ⑧-⑩は 早く終了 となります。
--	---	-----------------------	--	---	---------------------------------------



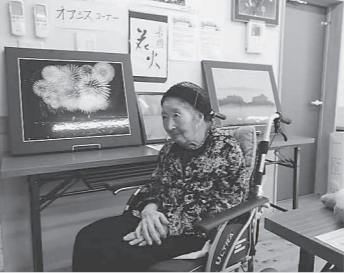
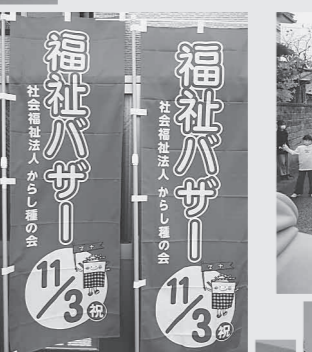
文化の日(十一月三日)を楽しむ

西有明町の地域とグループホームマナの家は、毎年文化の日(十一月三日)に地域は作品展とカフェ、マナの家はバザーを行いました。

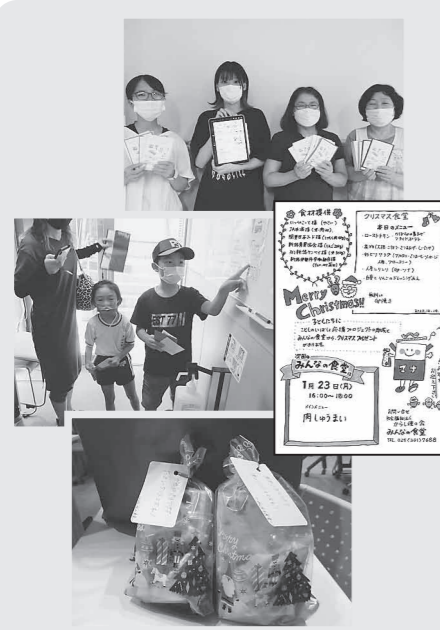
今回の文化の日は、新型コロナウイルス対策をして作品展とマナの家脇の道路を使って「芋煮」「綿あめ」を作り、イトインコーナーを設けて食べてもらいました。又イベントコーナーでは子供達の路上絵描きやキッズダンスにマジックでした。マナの家では車庫や駐車場を使ってバザー、物販でした。

西有明町以外の地域でも多くの方が来て賑やかな一日を楽しむことができました。また、警察、保健所へ届け、道路に面した各世帯からの協力を頂きました。ありがとうございました。

西有家町第一自治会 村井 良次



秋に植えたさつま芋が大豊作

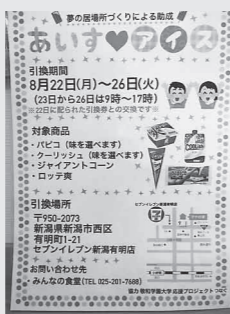


みんなの食堂活動報告

こどものいばしょ応援プロジェクト第一回助成夢の居場所をつくるうらに応募し、選定されました。コロナ禍で制限の多い子どもたちにも少しでも楽しみなことになれば、との思いで計画しました。八月のみんなの食堂時には子どもたちに「アイス券」をプレゼントしました。セブンイレブン新潟有明店様にご協力いただき、アイス券を持っていくと四種類のアイスから好きなアイスを交換できるようにしました。十二月はクリスマスプレゼントを用意し、子ども達に渡すことができました。

みんなの食堂に来てくれる子どもたちの他にも、マナの家の近所の子供たち三十人ほどにもアイス券、クリスマスプレゼントをお届けしました。

また、アイス券の作成やポスター制作、クリスマスプレゼントのラッピングには「敬和学園大学応援プロジェクトつなぐ」の学生さんたちが協力してくださいました。子ども達嬉しそうに受け取ってくれました。ご協力いただいた皆様にご感謝いたします。



クリスマス礼拝・祝会

二〇二二年十二月二十五日に社会福祉法人からし種の会合同クリスマス会が行われました。今年はおオンラインで各事業所を繋ぎ、一部クリスマス礼拝、二部クリスマス祝会を開催しました。礼拝は山崎ハコネ牧師、祝会では地域のボランティア「福祉の会」より村井様と平田様がブラックシアターを披露してくださいました。職員の子どもによる手品とクイズもあり、画面越しではありましたが皆さんが楽しんで下さる様子が伝わってきました。

同日に信濃町教会の子ども達によるキャロリングもおオンラインで行われました。ご利用者から「さいこー」との感想も出て、クリスマスをお祝いすることができました。

最後は各ホーム、ユニットごとにクリスマスプレゼントをお渡ししたり、ケーキやクリスマスメニューでの夕食を楽しみました。

